

第1回奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会議事要旨

1. 日 時 平成27年6月1日(月曜日) 13時30分～16時40分

2. 会 場 カルチャープラザ仁多 2F 農事研修室

3. 審議会の流れ

①町長あいさつ

大都市圏への若者の流出、非正規雇用の拡大、晩婚化、出生率の低下等に伴う少子化が進んでおり、人口減少の克服が喫緊の課題となっていることから、国はまち・ひと・しごと創生法を制定し、人口減少の歯止めと東京一極集中の是正、経済成長力の確保を目指す総合戦略を策定したところ。地方でも今後5か年の地方版総合戦略を策定し、地方への新しい人の流れを作る雇用創出、若い世代の結婚・出産・子育て、時代に合った地域づくり、地域連携の4つの大きな課題に取り組むことになった。

本町においても地方版総合戦略を策定するため、産業界、官公庁、学校、学識経験者、金融機関、言論界からなる審議会を設置し、課長を中心とした庁内会議と、役場若手職員によるプロジェクトチーム、町民の皆様による町民未来会議、議会と連携しながら計画を策定していく。

定住施策や子育て支援など、これまでも様々な施策を行ってきたが、人口減少に歯止めがかかっていない状況である。今後は既存事業の評価を行い、しっかりと足元を見据え、本町らしい特色を活かし、未来に向けた施策を策定したいと考えている。

奥出雲町版総合戦略は10月末を目途に策定していく予定。委員の皆様には短期間でのご審議をお願いすることになる。ご負担になることもあるかと思うが、5年、10年、20年先に向けた明るい奥出雲町の発展のため、既存の考えに捉われないご意見を賜りたい。

②審議会委員の委嘱書交付

③審議会会長及び副会長選出

④町長による啓蒙

⑤各委員が自己紹介

⑥議 事

議事にあたり会長から発言

議事に入る前に、会長として見通しを持たせてもらいたい。総合戦略策定において、短い期間で審議しないといけない。実質は8月までの数か月で5年先の特色ある奥出雲のあり方を考えなければいけない。非常に難しいが、私たちに与えられた時間はそれだけであるため、この場ではそういう流れに基づいて議論をしていきたい。しかし、それではやっただけ、になってしまう。委員の皆さんのご意見を色々な形で結果に盛り込んでいきたい。実りあるものにしていきたい。

・まち・ひと・しごと創生について(事務局説明)

(会 長) 戦略ができたのちが勝負。実行をマネジメントする仕組みが必要だと考えている。

・奥出雲町の取り組み体制及び日程について(事務局説明)

(委 員) スケジュールの8月30日が土曜日となっているが、日曜日の誤りか。

(事務局) 日曜日の誤り。

(会 長) 3枚目の体制に「産・官・学・金・労・言」の「言」が抜けている。

・奥出雲町人口ビジョン(案)について(調査委託機関・㈱エブリプランより資料説明。)

(委 員) 人口動態の分析状況について、飯南町と似たような環境だが人口動態に違いがあるのはなぜ

か。飯南町は閉ざされているからではないかと思う。奥出雲町はすぐに雲南市へ行けるため、雲南市にアパートを借りているのではないか。交通の便が良くなったことは良いことだが、人口を留めきれなくなっているように思う。

(事務局) 飯南町に比べて奥出雲町の人口流出が顕著であることについて、事務局内で議論をしているところではあるが、まだ、明確な要因が掴みきれていない。

(委員) 飯南町比較して、奥出雲町の若い世代の女性の減少が大きい理由を掘り下げて調査する必要がある。

・分科会の設置

まちづくり専門部会、ひとづくり専門部会、しごとづくり専門部会の3つの分科会に分かれ、分科会ごとに自己紹介及び意見交換を行った。各分科会の意見交換のまとめは別途。

・その他（分科会終了後の全体会）

(会長) 期間は短いが国の制度があり、それを契機としてまちづくりに取り組むという前提で行いたい。対策を以下のように考えたい。

(委員) 戦略が必要である。

(委員) 分科会で話してもだめ。全体会で話すことが必要。

(会長) 次回は検討時間を十分に取りたい。意見交換の場を設けたい。上記を会長私案としたい。ご理解願いたい。

(委員) 「まち・ひと・しごとアイデア大募集」は分科会でまとめて持ち寄るという理解で良いか？

(会長) 審議会の位置づけとしては庁内委員会等が出てきた素案を審議するというのが大きな流れ。事務局原案としては、分科会は1回～2回程度であるため、皆さんのアイデアを基にゼロベースから作るのは無理がある。また、ベースとして総合計画がある。

(委員) 次回の分科会の時間はどれくらいか？

(会長) 全体、分科会それぞれ二時間を考えている。

(事務局) 第一回分科会での原案提示は難しいと考えている。

(委員) 原案を審議するのが役割であるが、原案が示されていない状況で何を話せばよいかわからない。

(委員) 奥出雲町で取り組むべき課題がある。早めに頭出しして、議論すべき。今日は完全燃焼せず帰る。どこに問題があるのか、どこに重点を置いて取り組むのかを丁寧に議論する必要がある。様々な立場から意見を引き出す場を設けてほしい。血の通った取り組みにすべき。

(委員) 各自の意見は、次回、宿題として持ち寄って集まればどうか。枝葉の部分ではなく、どうしたいか？の部分を書いてもらうようにしてはどうか？

(会長) どこを議論するのかが分かりにくかったということだと思う。その通りだと思う。

(委員) 意見のある方は、インターネットで募集を行っているので、それを全員が書いて次回持ってきて発表すればよい。

(会長) 「まち・ひと・しごとアイデア大募集」に委員としての意見をお願いしたい。

(事務局) どういう方向性を目指すべきか、大所高所から検討願いたい。

16時40分閉会

以上